

事前評価個表

整理番号	3
------	---

地域（地区）名	<small>もつや</small> 宗谷地域	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	北海道	対象市町村	猿払村ほか7市町村
事業実施期間	H23 ~ H27（5年間）	事業実施主体	市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>宗谷森林計画区は、北海道北部に位置し、地形は低山性、西は日本海、東はオホーツク海、北は宗谷海峡と3方が海に面した計画区である。</p> <p>本計画区の総面積405,079haのうち、森林面積は286,721ha（森林率71%）で、そのうちトドマツを主体とした人工林の面積は76,735ha（人工林率27%）となっている。また、計画区内の林道延長は427.5kmで、公道等を含む林内道路密度は3.39m / haとなっており、このほかに林道の支線として作業道が整備されている。</p> <p>計画区内の民有林人工林38,464haのうち21,547ha（人工林の56%）が 齢級以下で、適正な保育・間伐を必要とする林齢にあるが、近年の木材価格の低迷と林業従事者の高齢化や不況等から手入れが不十分な森林が見られるようになってきた。</p> <p>このため、宗谷地域森林環境保全整備事業計画を作成し、これに基づく森林整備及び路網整備を推進する必要がある。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：25,590 ha 人工造林、樹下植栽等、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>総事業費：4,630,380千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 6.56 (総便益(B) = 54,657,895千円、総費用(C) = 8,331,615千円)</p>
評価結果	<p>必要性：保育対象林分の賦存状況、森林整備の緊急性等から見て必要性が高い。</p> <p>効率性：投下する費用を上回る効果が見込まれることから、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：健全な森林づくり等によって水源かん養、国土保全等の機能の確保に加え、将来の優良材の安定的な生産の上で有効である。</p> <p>本計画では、森林の多面的機能を発揮するために必要な森林整備と路網整備が適切に計画されている。</p> <p>また、効率性、有効性も十分に認められることから、森林環境保全整備事業計画として実施することが適当である。</p>

便 益 集 計 表

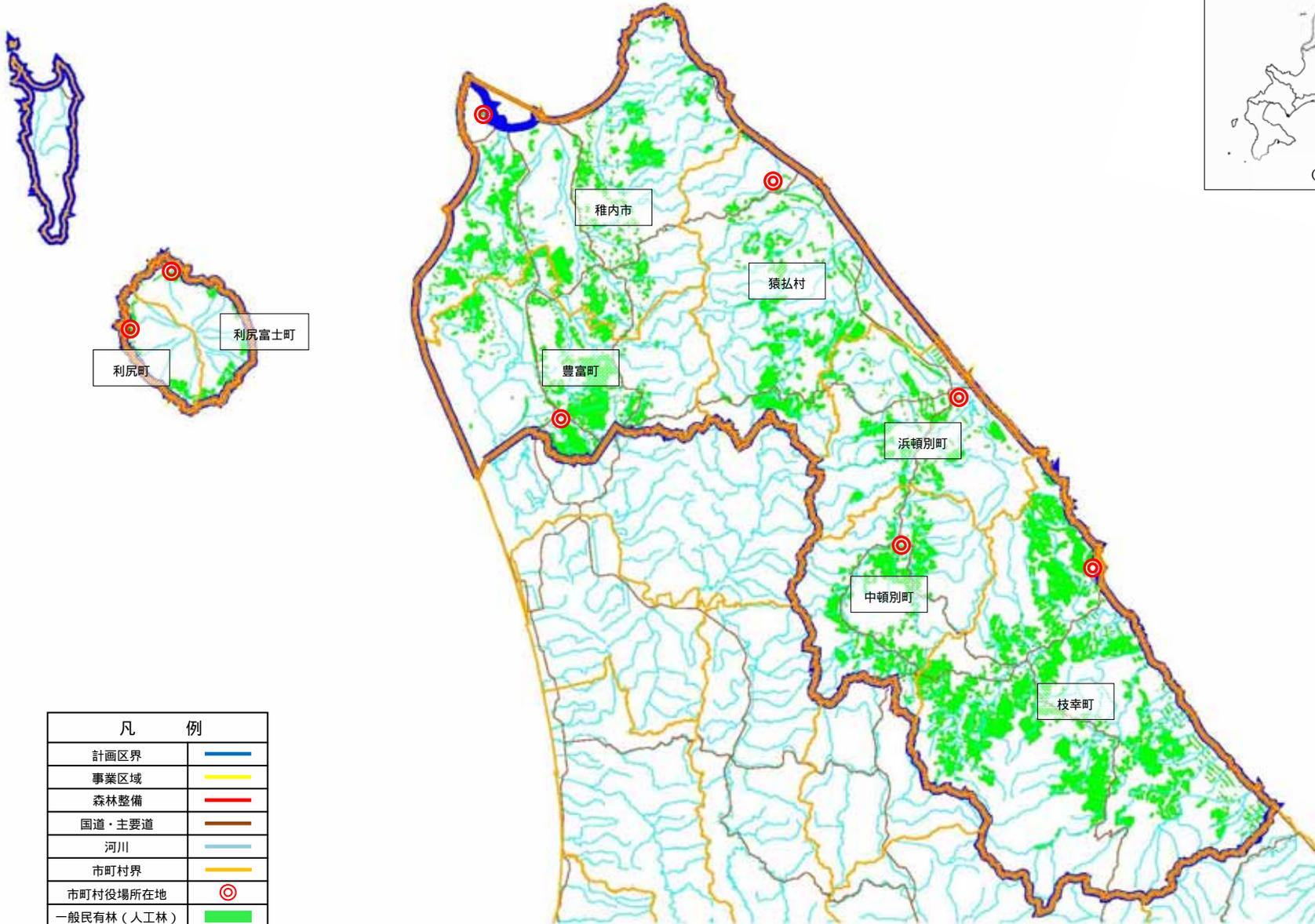
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業
 地域名: 宗谷

北海道
 (単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	11,052,728	
	流域貯水便益	5,449,970	
	水質浄化便益	9,304,165	
山地保全便益	土砂流出防止便益	24,435,924	
環境保全便益	炭素固定便益	2,801,813	
木材生産便益	木材生産確保・増進便益	1,613,295	
総 便 益 (B)		54,657,895	
総 費 用 (C)		8,331,615	
費用便益比	$B \div C = \frac{54,657,895}{8,331,615} = 6.56$		

森林環境保全整備事業 宗谷地域（北海道） 概要図



凡	例
計画区界	
事業区域	
森林整備	
国道・主要道	
河川	
市町村界	
市町村役場所在地	
一般民有林(人工林)	
道有林(人工林)	